

2007年 1 月21日実施

平成18年度（第36回）
情報処理検定試験
〈プログラミング部門〉
第2級 試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 8 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 【1】 【2】 【3】 【4】 は共通問題です。全員解答してください。
5. 【5】 【6】 【7】 の問題は、COBOL・イベント駆動型 BASIC のどちらか 1 つを選択し、解答用紙の選択言語を で囲んでください。
6. 電卓などの計算用具は使用できません。
7. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
8. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
9. 制限時間は50分です。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

- 2進数の11001と1011の差を表す10進数。
- 写真や絵、印刷物などを光学的に読み取り、デジタルデータとして入力する装置。
- 人間が記述したプログラムを、コンピュータが理解できるように翻訳・変換するプログラム。
- 本来の送信相手以外の者にも同一内容の電子メールを送りたいときに用いる送信相手の指定方法。受信者のメールアドレスは他の受信者にも公開される。
- コンピュータシステムにアクセスするユーザが、利用を許可された者であるかを確認すること。

解答群

ア. タッチパネル	イ. 14	ウ. カーボンコピー	エ. ブラインドカーボンコピー
オ. 不正アクセス	カ. イメージスキャナ	キ. 28	ク. 認証
ケ. 言語プロセッサ	コ. サービスプログラム		

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

A群

- 肖像権
- 磁気ヘッド
- アップロード
- Java
- PCカード

B群

- 磁気ディスク装置で、ディスク上のデータの読み書きを行う部分。
- ネットワーク上のサーバにあるデータやプログラムを、利用者側のパソコンに転送する作業。
- 自分の姿の写真やイラストなどを、無断で利用されないことがないように主張できる権利。
- 携帯電話やWebページなど、ネットワークで広く利用されているオブジェクト指向のプログラム言語。
- デジタルカメラに挿入し、撮影した画像データを記録するために用いられている小型の記憶媒体。
- 英語の構文に近い記述ができる事務処理向けのプログラム言語。
- 利用者側のパソコンにあるデータやプログラムを、ネットワーク上のサーバに転送する作業。
- 磁気ディスク装置上で、データの読み書きを行う部分を目的のトラック位置に移動するための部品。
- 小説、音楽、美術、映画などの創作物を保護する権利。
- ノート型パソコンなどで利用されているカード型の周辺装置。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

- 用紙の所定の位置に記入されたマークを光学的に読み取る装置。

ア. OMR イ. OCR ウ. SIMM

- 電子楽器を制御するための規格で、音楽情報を保存したファイル形式。

ア. PNG イ. MPEG ウ. MIDI

- 複数のファイルを1つのファイルにまとめたり、逆にまとめたファイルを元に戻したりするソフトウェア。

ア. バイナリファイル イ. アーカイバ ウ. テキストファイル

- 学校や企業といった特定の場所において、1つのソフトウェアを複数のコンピュータで利用できる契約。

ア. サイトライセンス イ. フリーウェア ウ. シェアウェア

- パソコン本体に内蔵用ハードディスクを接続するためのインタフェース。

ア. IEEE1394 イ. IDE ウ. PCI

【4】 次の各問いに答えなさい。

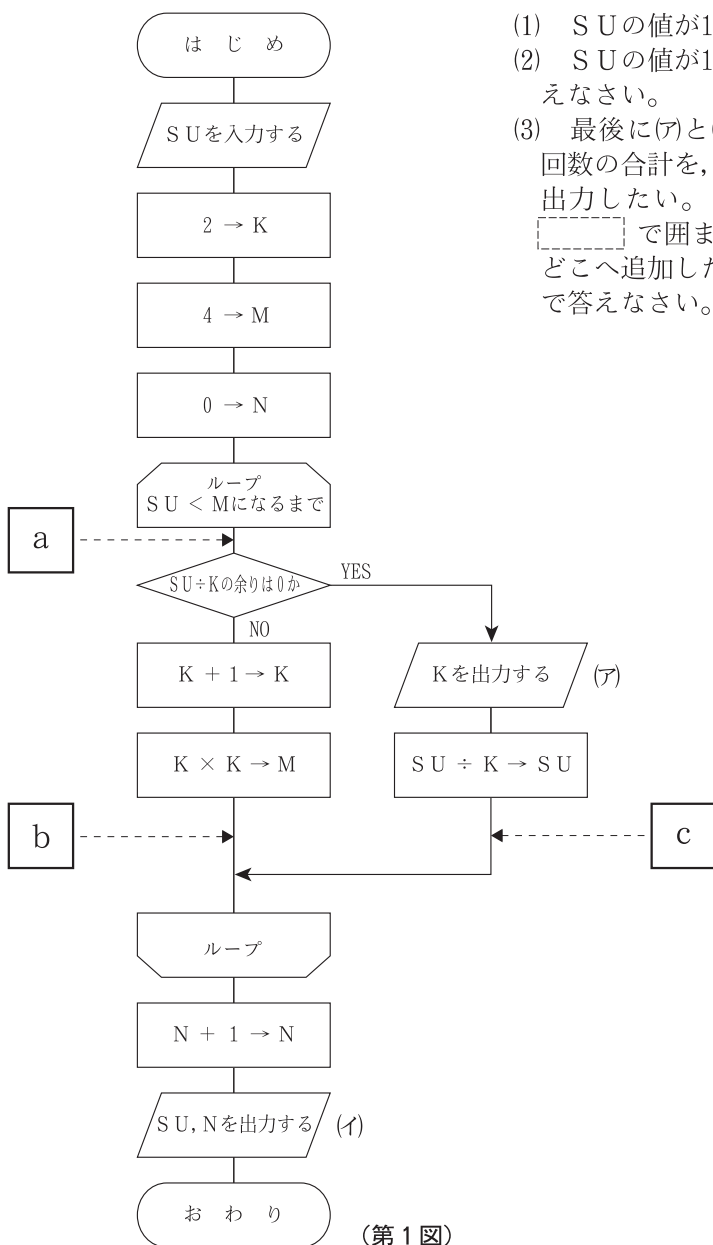
- 問1. 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。
- (1) 処理の流れにしたがい、記憶場所の内容について、その変化を確認する作業。
 - (2) プログラムを記述するために用いられる専用の用紙。
 - (3) 次のプログラムを実行したあとのJの値。

〈COBOL 選択者〉	〈イベント駆動型 BASIC 選択者〉
INITIALIZE J PERFORM 3 TIMES COMPUTE J = J + 8 / 2 END-PERFORM	J = 0 For P = 1 To 3 J = J + 8 / 2 Next P

解答群

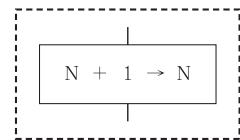
- | | | |
|--------------|-----------|---------|
| ア. コーディングシート | イ. データシート | ウ. トレース |
| エ. コンパイル | オ. 7 | カ. 12 |

問2. 第1図の流れ図にしたがって処理するとき、次の(1)~(3)に答えなさい。



(第1図)

- (1) SUの値が120のとき、(ア)は何回実行されるか答えなさい。
- (2) SUの値が180のとき、(イ)で出力されるSUの値はいくつか答えなさい。
- (3) 最後に(ア)と(イ)でデータが出力される回数の合計を、Nを用いて計算し、(イ)で出力したい。そのためには、第2図の [] で囲まれた処理を [a] ~ [c] のどこへ追加したらよいか。a~cの記号で答えなさい。



(第2図)

[COBOL選択者のための問題]

2007.01 2-③

【5】 第1図のようなあるショップの会員プレゼント応募状況ファイルを読み、処理条件にしたがって第2図のように印字する。プログラムの空欄にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

(ファイル名：PRE-FILE, レコード名：PRE-REC)

会員番号 (BANGO)	利用料金 (KIN)	応募コース (KOSU)
××××	××××××	×

(第1図)

出力形式

(ファイル名：LIST-FILE, レコード名：LIST-REC)

(プレゼント応募状況)			
(会員番号)	(利用料金)	(応募コース)	(応募口数)
1001	51,500	A	5
1002	15,000	A	1
1003	28,240	C	2
1004	113,135	B	11
}	}	}	}
(応募倍率)			
(Aコース)	(Bコース)	(Cコース)	
1,012(倍)	538(倍)	79(倍)	
(当選する確率が最も高いコース)			Cコース

(第2図)

処理条件

- (1) 第1図のファイルを読み、第2図のように会員番号から応募口数までを印字する。
- (2) 応募口数は、利用料金1万円ごとに1口であり、1コースのみ選択できる。なお、プレゼント内容と当選数は第3図のとおりである。

応募コース	プレゼント内容	当選数
A	豪華温泉旅行1泊2日	3
B	高級レストランで夕食	5
C	3,000円分のお買い物券	10

(第3図)

- (3) ファイルを読み終えたあと、コース別の応募口数の合計と第3図の当選数をもとに、応募倍率を次の計算式で求めて印字する。

$$\text{応募倍率} = \frac{\text{応募口数の合計}}{\text{当選数}} \quad (\text{小数点以下切り捨て})$$

- (4) 最後に、応募倍率が最低のコースを、当選する確率が最も高いコースとして印字する。
- (5) 入力データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. BANGO
- イ. KOSU = "B"
- ウ. KUTISU
- エ. C-BAIRITU < B-BAIRITU
- オ. 3000
- カ. KOSU
- キ. B-BAIRITU < C-BAIRITU
- ク. 10000
- ケ. MIN-KOSU
- コ. KOSU = "C"

WORKING-STORAGE SECTION.

```

01 E-SW          PIC 9(01).
01 KUTISU       PIC 9(03).
01 A-KUTISU     PIC 9(05).
01 B-KUTISU     PIC 9(05).
01 C-KUTISU     PIC 9(05).
01 A-BAIRITU    PIC 9(05).
01 B-BAIRITU    PIC 9(05).
01 C-BAIRITU    PIC 9(05).
01 MIN-KOSU     PIC X(08).
01 MEISAI-R.
02              PIC X(04) VALUE SPACE.
02 M-BANGO      PIC X(04).
02              PIC X(05) VALUE SPACE.
02 M-KIN        PIC Z, ZZZ, ZZ9.
02              PIC X(07) VALUE SPACE.
02 M-KOSU       PIC X(01).
02              PIC X(09) VALUE SPACE.
02 M-KUTISU     PIC ZZ9.
01 S-BAIRITU-R.
02              PIC X(02) VALUE SPACE.
02 S-A-BAIRITU PIC ZZ, ZZ9.
02              PIC X(11) VALUE SPACE.
02 S-B-BAIRITU PIC ZZ, ZZ9.
02              PIC X(11) VALUE SPACE.
02 S-C-BAIRITU PIC ZZ, ZZ9.
01 MIN-R.
02              PIC X(34) VALUE SPACE.
02 S-MIN-KOSU   PIC X(08).
    
```

PROCEDURE DIVISION.

```

P1. OPEN INPUT PRE-FILE OUTPUT LIST-FILE
    INITIALIZE E-SW A-KUTISU B-KUTISU C-KUTISU
    PERFORM UNTIL E-SW = 1
        READ PRE-FILE
        AT END
            MOVE 1 TO E-SW
        NOT AT END
            COMPUTE KUTISU = KIN / (1)
            MOVE BANGO TO M-BANGO
            MOVE KIN TO M-KIN
            MOVE KOSU TO M-KOSU
            MOVE KUTISU TO M-KUTISU
            WRITE LIST-REC FROM MEISAI-R AFTER 1
            IF KOSU = "A"
                THEN
                    COMPUTE A-KUTISU = A-KUTISU + (2)
            ELSE
                IF (3)
                    THEN
                        COMPUTE B-KUTISU = B-KUTISU + (2)
                    ELSE
                        COMPUTE C-KUTISU = C-KUTISU + (2)
            END-IF
        END-IF
    END-READ
END-PERFORM
COMPUTE A-BAIRITU = A-KUTISU / 3
COMPUTE B-BAIRITU = B-KUTISU / 5
COMPUTE C-BAIRITU = C-KUTISU / 10
MOVE A-BAIRITU TO S-A-BAIRITU
MOVE B-BAIRITU TO S-B-BAIRITU
MOVE C-BAIRITU TO S-C-BAIRITU
WRITE LIST-REC FROM S-BAIRITU-R AFTER 1
IF A-BAIRITU < B-BAIRITU
    THEN
        IF A-BAIRITU < C-BAIRITU
            THEN
                MOVE "Aコース" TO MIN-KOSU
            ELSE
                MOVE "Cコース" TO MIN-KOSU
        END-IF
    ELSE
        IF (4)
            THEN
                MOVE "Bコース" TO MIN-KOSU
            ELSE
                MOVE "Cコース" TO MIN-KOSU
        END-IF
    END-IF
END-IF
MOVE (5) TO S-MIN-KOSU
WRITE LIST-REC FROM MIN-R AFTER 1
CLOSE PRE-FILE LIST-FILE
STOP RUN.
    
```

[COBOL選択者のための問題]

2007.01 2-④

【6】 第1図のようなあるレンタカー店の1か月分の契約ファイルを読み、処理条件にしたがって第2図のように印字する。第5図の流れ図(1)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

日付 (HI)	車種コード (KO)	契約時間 (JI)	オプション (OP)
××××	×	××	×

(第1図)

処理条件

(1) 第1図のファイルを読み、車種コード、契約時間、オプションをもとに第3図から料金を計算し、第2図のように印字する。なお、契約時間は1時間単位で、最大48時間とする。

車種コード	6時間まで	12時間まで	24時間まで	48時間まで
K (軽自動車)	5,000円	6,000円	7,000円	8,000円
F (普通乗用車)	8,000円	9,000円	10,000円	11,000円
M (マイクロバス)	12,000円	13,000円	14,000円	15,000円
オプション (チャイルドシートの貸し出し)				
0: 追加なし..... 0円				
1: 追加あり.....500円加算				

(第3図)

(2) 第4図の各テーブルには、第3図の値が記憶されている。なお、第4図の各テーブルは、添字で対応している。

テーブル J-KUBUN-T (時間区分)

	(1)	(2)	(3)	(4)
JIKAN	6	12	24	48
	(6時間まで)	(12時間まで)	(24時間まで)	(48時間まで)

テーブル RYO-K-T (軽自動車の料金)

	(1)	(2)	(3)	(4)
RYO-K	5000	6000	7000	8000
	(6時間まで)	(12時間まで)	(24時間まで)	(48時間まで)

テーブル RYO-F-T (普通乗用車の料金)

	(1)	(2)	(3)	(4)
RYO-F	8000	9000	10000	11000
	(6時間まで)	(12時間まで)	(24時間まで)	(48時間まで)

テーブル RYO-M-T (マイクロバスの料金)

	(1)	(2)	(3)	(4)
RYO-M	12000	13000	14000	15000
	(6時間まで)	(12時間まで)	(24時間まで)	(48時間まで)

(第4図)

- (3) 第1図の契約時間をもとに、第4図のテーブルJ-KUBUN-Tを探索する。該当する時間の添字を求め、対応する車種コードごとの料金が記憶されたテーブルとオプションの有無により、料金を計算する。
- (4) ファイルを読み終えたあと、料金の合計を印字し、処理を終了する。
- (5) 入力データにエラーはないものとする。

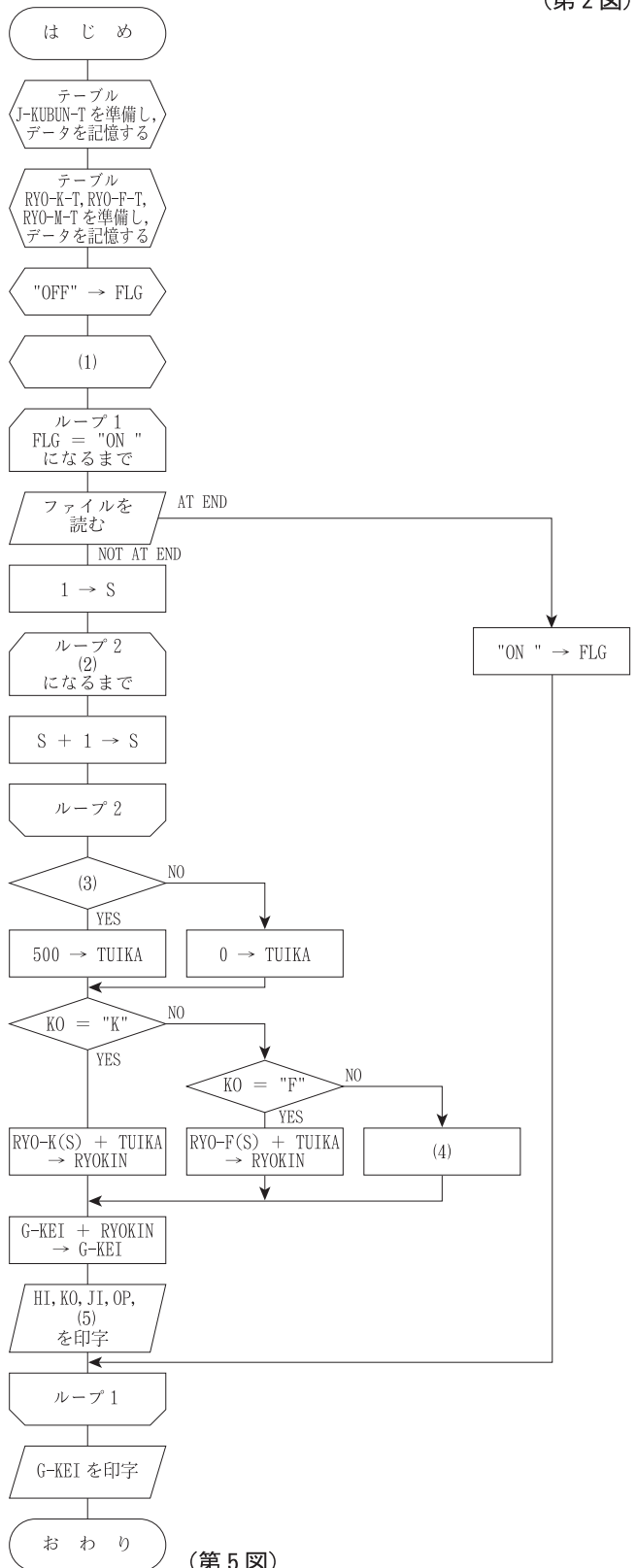
解答群

- ア. G-KEI
- イ. 0 → RYOKIN
- ウ. RYO-M(S) + TUIKA → RYOKIN
- エ. OP = 1
- オ. JIKAN(S) ≥ JI
- カ. RYOKIN
- キ. RYO-M(S) + RYOKIN → RYOKIN
- ク. OP = 0
- ケ. JIKAN(S) > JI
- コ. 0 → G-KEI

出力形式

(レンタカー料金一覧表)				
(日付)	(車種コード)	(契約時間)	(オプション)	(料金)
1201	F	10	1	9,500
1201	K	6	0	5,000
1202	M	20	0	14,000
}	}	}	}	}
1231	K	48	0	8,000
				(合計) 817,500

(第2図)



(第5図)

[COBOL選択者のための問題]

2007.01 2-⑤

【7】 第1図のようなある警備会社が作成する学校の警備記録ファイルを読み、処理条件にしたがって第2図のように印字するプログラムの空欄をうめなさい。

入力形式

(ファイル名: KEIBI-F, レコード名: KEIBI-R)

部屋名 (K-HMEI)	点検結果1 (K-TKE1)	~	点検結果5 (K-TKE5)
×~×	×		×

(第1図)

処理条件

(1) 第1図の点検結果1から点検結果5には、次の意味を表す記号が記録されている。

異常なし: ○ 異常あり: × 点検不要: -

(2) 第1図のファイルを1件読むたびに、第2図のような部屋ごとの警備報告書を次の手順にしたがって印字する。

① 部屋名の印字後、第1図の点検結果1から点検結果5の記号を、第3図のテーブルTKE-TBLに記憶する。

テーブル TKE-TBL (点検結果)

(1)	~	(5)
TKE	~	
(点検結果1)	~	(点検結果5)

(第3図)

② 点検項目名と点検結果を印字する。点検項目名の印字には、点検項目名が記憶済みの第4図のテーブルTMEI-TBLを利用する。なお、第3図と第4図のテーブルは添字で対応している。

テーブル TMEI-TBL (点検項目名)

(1)	~	(5)
TMEI	1. 窓の鍵閉め	5. アラームセット
(点検項目1)	~	(点検項目5)

(第4図)

③ 部屋別異常項目数を印字する。なお、部屋別異常項目数とは、その部屋の点検結果で、記号が「×」の個数である。

④ 部屋別異常項目数をもとに、第5図のテーブルHSU-TBLに異常項目数ごとの部屋数を集計する。

テーブル HSU-TBL (部屋数集計)

(1)	(2)	~	(6)
HSU	異常項目数	異常項目数	異常項目数
(0個の部屋数)	(1個の部屋数)	~	(5個の部屋数)

(第5図)

(3) ファイルを読み終えたあと、第2図のように異常項目数ごとの部屋数の集計結果を印字する。また、最後に部屋数の合計を印字し、処理を終了する。

(4) 入力データにエラーはないものとする。

WORKING-STORAGE SECTION.

```

?
01 HEAD-R.
02          PIC X(12) VALUE SPACE.
02 H-HMEI   PIC X(20).
01 MEISAI-R.
02          PIC X(06) VALUE SPACE.
02 M-TMEI   PIC X(20).
02          PIC X(07) VALUE SPACE.
02 M-TKE    PIC X(02).
01 FOOT-R.
02          PIC X(34) VALUE SPACE.
02 F-BATU   PIC 9(01).
01 SYUKEI-R.
02          PIC X(21) VALUE SPACE.
02 S-HSU    PIC Z9.
?
    
```

出力形式

(ファイル名: OUT-F, レコード名: OUT-R)

(警備報告書)	
(部屋名) 体育館	(点検結果)
(点検項目名)	
1. 窓の鍵閉め	○
2. 室内灯の消灯	×
}	}
5. アラームセット	-
(部屋別異常項目数)	1
(警備報告書)	
(部屋名) 第1コンピュータ室	(点検結果)
(点検項目名)	
1. 窓の鍵閉め	×
2. 室内灯の消灯	○
}	}
(集計結果)	
(異常項目数)	(部屋数)
(0個)	38
(1個)	7
}	}
(5個)	2
(合計)	55

(第2図)

PROCEDURE DIVISION.

```

P1. OPEN INPUT KEIBI-F OUTPUT OUT-F
INITIALIZE FLG GOKEI HSU-TBL
PERFORM UNTIL FLG = 1
  READ KEIBI-F
  AT END
  MOVE 1 TO FLG
  NOT AT END
  MOVE K-HMEI TO H-HMEI
  WRITE OUT-R FROM HEAD-R AFTER 2
  MOVE K-TKE1 TO TKE(1)
  MOVE K-TKE2 TO TKE(2)
  MOVE K-TKE3 TO TKE(3)
  MOVE K-TKE4 TO TKE(4)
  MOVE K-TKE5 TO TKE(5)
  MOVE ZERO TO (ア)
  MOVE 1 TO K
  PERFORM UNTIL (イ)
    MOVE TMEI(K) TO M-TMEI
    MOVE TKE(K) TO M-TKE
    WRITE OUT-R FROM MEISAI-R AFTER 1
    IF TKE(K) = "×"
      THEN COMPUTE BATU = BATU + 1
    END-IF
    COMPUTE K = K + 1
  END-PERFORM
  MOVE BATU TO F-BATU
  WRITE OUT-R FROM FOOT-R AFTER 1
  COMPUTE S = BATU + 1
  COMPUTE (ウ)
  COMPUTE GOKEI = GOKEI + 1
END-READ
END-PERFORM
MOVE 1 TO J
PERFORM UNTIL J > 6
  MOVE HSU(J) TO S-HSU
  WRITE OUT-R FROM SYUKEI-R AFTER 1
  (エ)
END-PERFORM
MOVE (オ) TO S-HSU
WRITE OUT-R FROM SYUKEI-R AFTER 2
CLOSE KEIBI-F OUT-F
STOP RUN.
    
```

【イベント駆動型BASIC選択者のための問題】

2007.01 2-⑥

【5】 あるショップの会員プレゼント応募データを入力し、処理条件にしたがって第2図の実行形式のように表示する。プログラムの空欄にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

フォーム

実行形式

プレゼント応募状況

会員番号 利用料金

応募コースを選択してください

Option1 Option2 Option3

応募口数

現在の応募倍率 Aコース 倍 Bコース 倍 Cコース 倍

現在当選する確率が最も高いコース

(第1図)

プレゼント応募状況

会員番号 利用料金

応募コースを選択してください

Aコース Bコース Cコース

応募口数

現在の応募倍率 Aコース 倍 Bコース 倍 Cコース 倍

現在当選する確率が最も高いコース

(第2図)

処理条件

- 第2図の会員番号、利用料金、応募コースを入力し、「応募処理」ボタンをクリックすると、第1図のLabel1からLabel5までを毎回表示する。
- 応募口数は、利用料金1万円ごとに1口であり、第2図のように表示する。なお、プレゼント内容と当選数は第3図のとおりである。

応募コース	プレゼント内容	当選数
Aコース	豪華温泉旅行1泊2日	3
Bコース	高級レストランで夕食	5
Cコース	3,000円分のお買い物券	10

(第3図)

- 第2図の現在の応募倍率は、コース別の応募口数の合計と第3図の当選数をもとに、次の計算式で求めて表示する。

$$\text{応募倍率} = \text{応募口数の合計} \div \text{当選数}$$

- 最後に、応募倍率が最低のコースを、現在当選する確率が最も高いコースとして表示する。
- 入力データにエラーはなく、操作は正常に行われるものとする。

解答群

- ア. Bango
- イ. Kosu = "B"
- ウ. Kutisu
- エ. C_Bairitu < B_Bairitu
- オ. 3000
- カ. Kosu
- キ. B_Bairitu < C_Bairitu
- ク. 10000
- ケ. Min_Kosu
- コ. Kosu = "C"

```
Option Explicit
Dim Kosu As String
Dim A_Kutisu, B_Kutisu, C_Kutisu As Integer
```

```
Private Sub Form_Load()
    A_Kutisu = 0
    B_Kutisu = 0
    C_Kutisu = 0
    Text1.Text = ""
    Text2.Text = ""
    Label1.Caption = ""
}
Label5.Caption = ""
Option1.Value = True
Kosu = "A"
End Sub
```

```
Private Sub Option1_Click() (Aコース)
    Kosu = "A"
End Sub

Private Sub Option2_Click() (Bコース)
    Kosu = "B"
End Sub

Private Sub Option3_Click() (Cコース)
    Kosu = "C"
End Sub

Private Sub Command1_Click() (応募処理)
    Dim Bango As Integer
    Dim Kin As Long
    Dim Kutisu As Integer
    Dim Min_Kosu As String
    Dim A_Bairitu, B_Bairitu, C_Bairitu As Single
    Bango = Val(Text1.Text)
    Kin = Val(Text2.Text)
    Kutisu = Int(Kin / (1))
    If Kosu = "A" Then
        A_Kutisu = A_Kutisu + (2)
    Else
        If (3) Then
            B_Kutisu = B_Kutisu + (2)
        Else
            C_Kutisu = C_Kutisu + (2)
        End If
    End If
    A_Bairitu = A_Kutisu / 3
    B_Bairitu = B_Kutisu / 5
    C_Bairitu = C_Kutisu / 10
    If A_Bairitu < B_Bairitu Then
        If A_Bairitu < C_Bairitu Then
            Min_Kosu = "Aコース"
        Else
            Min_Kosu = "Cコース"
        End If
    Else
        If (4) Then
            Min_Kosu = "Bコース"
        Else
            Min_Kosu = "Cコース"
        End If
    End If
    Label1.Caption = Format(Kutisu, "##0")
    Label2.Caption = Format(A_Bairitu, "##,##0.0")
    Label3.Caption = Format(B_Bairitu, "##,##0.0")
    Label4.Caption = Format(C_Bairitu, "##,##0.0")
    Label5.Caption = (5)
End Sub

Private Sub Command2_Click() (終了)
End Sub
End Sub
```

[イベント駆動型BASIC選択者のための問題]

2007.01 2-⑦

【6】 第1図のようなあるレンタカー店の1か月分の契約データを読み、処理条件にしたがって第2図のようにレンタカー料金一覧表を表示する。第5図の流れ図(1)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

入力形式

日付 (Hi)	車種コード (Ko)	契約時間 (Ji)	オプション (Op)
××××	×	××	×

(第1図)

処理条件

(1) このレンタカー店の料金は、第3図のとおりである。なお、契約時間は1時間単位で、最大48時間とする。

時間区分 車種コード	6時間まで	12時間まで	24時間まで	48時間まで
K (軽自動車)	5,000円	6,000円	7,000円	8,000円
F (普通乗用車)	8,000円	9,000円	10,000円	11,000円
M (マイクロバス)	12,000円	13,000円	14,000円	15,000円

オプション (チャイルドシートの貸し出し)
 0: 追加なし..... 0円
 1: 追加あり.....500円加算

(第3図)

(2) フォームロード時に、第3図の値を第4図の各配列に記憶する。なお、第4図の各配列は、添字で対応している。

配列

(時間区分)	(1)	(2)	(3)	(4)
Jikan	6 (6時間まで)	12 (12時間まで)	24 (24時間まで)	48 (48時間まで)
(軽自動車の料金) RyoK	5000 (6時間まで)	6000 (12時間まで)	7000 (24時間まで)	8000 (48時間まで)
(普通乗用車の料金) RyoF	8000 (6時間まで)	9000 (12時間まで)	10000 (24時間まで)	11000 (48時間まで)
(マイクロバスの料金) RyoM	12000 (6時間まで)	13000 (12時間まで)	14000 (24時間まで)	15000 (48時間まで)

(第4図)

(3) 第2図の「処理」ボタンをクリックすると、次の処理を行う。

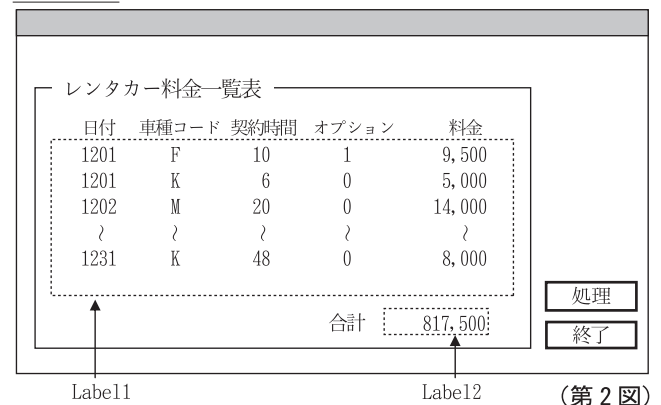
- ① 第1図のデータを読み、契約時間をもとに第4図の配列 Jikan を探索し、該当する時間の添字を求める。
- ② 添字に対応する車種コードごとの料金が記憶された配列とオプションの有無をもとに、料金を計算して Label1 のように表示する。
- ③ データを読み終えたあと、Label2 に料金の合計を表示する。

(4) 表示に関する設定は、第2図の実行形式のとおりとする。また、入力データにエラーはなく、操作は正常に行われるものとする。

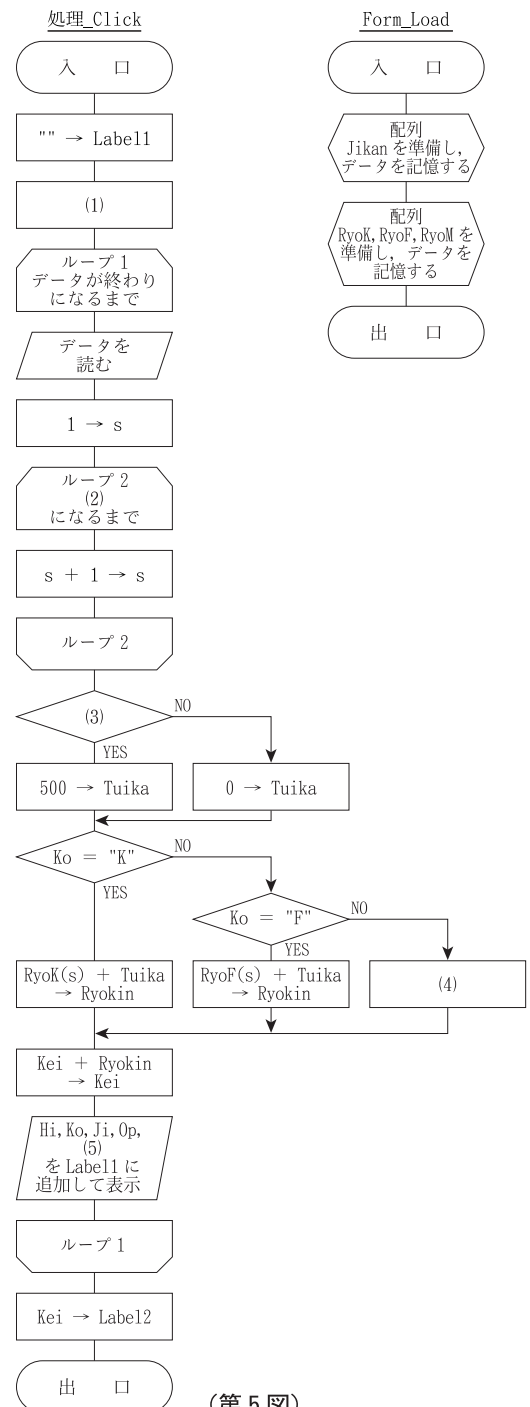
解答群

- ア. Kei
- イ. 0 → Ryokin
- ウ. RyoM(s) + Tuika → Ryokin
- エ. Op = 1
- オ. Jikan(s) ≥ Ji
- カ. Ryokin
- キ. RyoM(s) + Ryokin → Ryokin
- ク. Op = 0
- ケ. Jikan(s) > Ji
- コ. 0 → Kei

実行形式



(第2図)



(第5図)

[イベント駆動型BASIC選択者のための問題]

2007.01 2-⑧

【7】 ある高等学校を警備する警備会社の点検データをもとに、処理条件にしたがって第2図の実行形式のように表示するプログラムの空欄をうめなさい。

フォーム

(第1図)

実行形式

(第2図)

処理条件

(1) 第2図の入力欄の各点検項目の結果には、次の意味を表す記号のうち、いずれかを入力する。

異常なし：○ 異常あり：× 点検不要：-

(2) 第2図の入力欄に入力し、「集計」ボタンをクリックすると、そのつど次の処理を行う。

① 点検項目1から点検項目5に入力された記号を、第3図の配列Tkeへ記憶する。

配列 (点検結果)

Tke (1) ~ (5)

(点検項目1の結果) ~ (点検項目5の結果) (第3図)

② 第2図の点検結果にあるこの部屋の異常項目数には、記号が「×」の個数を表示する。

③ この部屋の異常項目数をもとに、異常項目数ごとの部屋数を第4図の配列Hsuに集計する。

配列 (部屋数集計)

Hsu (0) (1) ~ (5)
 (異常項目数 0個の部屋数) (異常項目数 1個の部屋数) ~ (異常項目数 5個の部屋数)

(第4図)

④ 第2図の集計結果を表示する。

- 異常項目数ごとの部屋数を表示する。
- 続けて部屋数の合計を表示する。

(3) 表示に関する設定は、第2図の実行形式のとおりとする。また、入力データにエラーはなく、操作は正常に行われるものとする。

```
Option Explicit
Dim Hsu(5), Gokei, j As Integer
```

```
Private Sub Form_Load()
    For j = 0 To 5
        Hsu(j) = 0
    Next j
    Gokei = 0
    Call Syokyo
    Label1.Caption = ""
    Label2.Caption = ""
End Sub
```

```
Private Sub Command1_Click() (集計)
    Dim k, Batu As Integer
    Dim Tke(1 To 5), Hkod As String
    Tke(1) = Text1.Text
    Tke(2) = Text2.Text
    Tke(3) = Text3.Text
    Tke(4) = Text4.Text
    Tke(5) = Text5.Text
    Hkod = Text6.Text
    (ア) = 0
    k = 1
    Do Until (イ)
        If Tke(k) = "×" Then
            Batu = Batu + 1
        End If
        k = k + 1
    Loop
    Label1.Caption = Str(Batu)
    (ウ)
    Gokei = Gokei + 1
    Label2.Caption = ""
    j = 0
    Do Until j > 5
        Label2.Caption = Label2.Caption & _
            Str(Hsu(j)) & _
            Chr(13) & Chr(10)
        (エ)
    Loop
    Label2.Caption = Label2.Caption & Str((オ))
End Sub
```

```
Private Sub Command2_Click() (クリア)
    Call Syokyo
End Sub
```

```
Private Sub Command3_Click() (終了)
    End
End Sub
```

```
Private Sub Syokyo() (消去)
    Text1.Text = ""
    }
    Text6.Text = ""
End Sub
```

(注) Chr(13) & Chr(10)は改行のための制御文字を表す。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成18年度 (第36回) 情報処理検定試験プログラミング部門 第2級
解答用紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

1	2	3	4	5

【3】

1	2	3	4	5

【4】

問1			問2		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
			回		

小計

..... [COBOL] ・ [イベント駆動型BASIC]

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【7】

(ア)	
(イ)	
(ウ)	
(エ)	
(オ)	

試験場校名	受験番号	選択言語	
		COBOL	イベント駆動型 BASIC

小計

合計

選択言語を で囲むこと

平成18年度 (第36回) 情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

審査基準

【1】

1	2	3	4	5
イ	カ	ケ	ウ	ク

各2点
計10点

【2】

1	2	3	4	5
ウ	ア	キ	エ	コ

各2点
計10点

【3】

1	2	3	4	5
ア	ウ	イ	ア	イ

各2点
計10点

【4】

問1			問2		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
ウ	ア	カ	4回	5	c

問1 各2点
問2 各3点
計15点

小計
45

..... [COBOL]

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
ク	ウ	イ	キ	ケ

各3点
計15点

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
コ	オ	エ	ウ	カ

各4点
計20点

【7】

(ア)	B A T U
(イ)	K > 5
(ウ)	HSU (S) = HSU (S) + 1
(エ)	COMPUTE J = J + 1
(オ)	G O K E I

各4点 計20点

試験場校名	受験番号	選択言語
		<input checked="" type="radio"/> COBOL <input type="radio"/> イベント駆動型 BASIC

選択言語を で囲むこと

小計
55

合計
100

平成18年度 (第36回) 情報処理検定試験プログラミング部門 第2級
審査基準

【1】

1	2	3	4	5
イ	カ	ケ	ウ	ク

各2点
計10点

【2】

1	2	3	4	5
ウ	ア	キ	エ	コ

各2点
計10点

【3】

1	2	3	4	5
ア	ウ	イ	ア	イ

各2点
計10点

【4】

問1			問2		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
ウ	ア	カ	4回	5	c

問1各2点
問2各3点
計15点

小計
45

..... [イベント駆動型BASIC]

【5】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
ク	ウ	イ	キ	ケ

各3点
計15点

【6】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
コ	オ	エ	ウ	カ

各4点
計20点

【7】

(ア)	B a t u
(イ)	k > 5
(ウ)	H s u (B a t u) = H s u (B a t u) + 1
(エ)	j = j + 1
(オ)	G o k e i

(注) 大文字, 小文字および空白は問わない。

各4点 計20点

試験場校名	受験番号	選択言語
		COBOL <input type="radio"/> イベント駆動型 BASIC <input checked="" type="radio"/>

選択言語を で囲むこと

小計
55

合計
100